

学校・家庭・地域が協働で取り組む人づくりの実現
～児童の「自主自立」を推進する取組を通して～

岩手県盛岡市立河北小学校
校長 君 塚 裕 子

1. 主題設定の理由

本校の教育目標は、「思いやりのある子」「よく考える子」「たくましい子」である。経験豊富な教職員が多い本校は、学校の教育目標のもと各学年や各分掌で様々な取組が展開されている。また、コミュニティスクールとなって2年目であり、学校・家庭・地域が一体となって児童の成長を支えていこうとする意識の高い学校である。しかし、昨年度は、学校の教育目標と様々な取組のつながりが意識されず、児童の課題改善に効果的に作用しない場面が見られた。また、学校の取組の意図が家庭や地域に理解されず、誤解を生んでいる場面もあった。「子どものために」という思いは一致しているものの、成果が見えず誤解さえあるという状態は、学校の活性化を阻害する要素になりうる。

そこで、今年度は、学校の教育目標を捉え直し、育成を目指す児童像を、学校・家庭・地域で共通理解することにした。そして、組織的で意図的な取組を展開することで目指す児童像を実現したいと考えた。

2. 学校経営グランドデザインの作成

(1) 育成を目指す児童像の設定

昨年度12月。学校評価や学力調査、教職員が日常の指導の中で捉えた児童の実態等の様々な情報を、副校長が提示し、全教職員でこれまでの指導の成果や児童の課題を明らかにする作業を行った。その中で、本校児童の「明るく素直で、協調性がある」「与えられた課題は、きちんとやり遂げようとする」「規範意識が高い」という長所や「主体性（自分の意思や判断に基づいて、責任をもって行動する力）に欠ける」という課題が明らかになった。そこで、今年度の学校経営のテーマを「自主自立」～自分で自分の力を伸ばすことができる児童の育成～とし、教育活動全体を通してこの力を育成するという方向性を確認した。そして、3つの教育目標が目指す児童像をこの観点から捉え直すとともに、この実現のために必要な資質・能力を以下のように明らかにした。

「自主自立」 自分の力を自分で伸ばすことができる児童の育成

学校の 教育目標		徳	知	体
		思いやりのある子	よく考える子	たくましい子
目指す 児童像		思いやりの気持ちを持ち、表現 できる子	課題意識もち、進んで学習に 取り組む子	目標をもち、達成に向けて試行 錯誤しながら取り組む子
育成を 目指す 資質・ 能力	①	自他の良さや大切さを理解し、 コミュニケーションを図る。	基礎・基本が定着している。	自ら目標や課題を設定すること ができる。
	②	自他のよさを生かし、協働的に 活動する。	多様な方法で考え、根拠をも って説明する。	目標や課題を達成する方法を考 え工夫して取り組む。
	③	思いやりの気持ちを表現しよう とする。	課題意識をもって、学習に取 り組もうとする。	自分の特性を生かし、より良い 生活の実現に向けて取り組もう とする。

資料1) 目指す児童像とその実現のために育成を目指す資質・能力

(①—知識・技能等 ②—思考力・判断力・表現力等 ③—学びに向かう力・人間性等)

(2) 指導観・授業観の転換

新年度に育成を目指す児童像は、1月の新年度計画会議や学校運営協議会の場でも取り上げてきた。保護者や地域の方々とともに、同じ方向で歩む第1歩である。まず、児童像については、変化の激しい時代を生きていく現代の児童に、「自主自立」の力を育成する必要性は、すぐに理解していただくことができた。そして、話題になったのが、「明るく素直で、協調性がある」「与えられた課題は、きちんとやり遂げようとする」「規範意識が高い」が、「主体性（自分の意思や判断に基づいて、責任をもって行動する力）に欠ける」という河北小学校の児童の傾向の裏にある背景は何かということであった。「児童主体の活動が少ないのではないか。」「コロナ禍を経て、大人が子どもを守りすぎたり、規制しすぎたりしていないか。」「みんなと違うことに大人も子どももまだ抵抗があるように思う。もっと個性を大事にしたい。」「子どもに失敗させたくないという思いから、大人が教え込みすぎではないか。これでは児童の主体性は育たない。自分が思いをもって人・もの・事に働きかけながら課題を解決していくことができる児童を育てたい。」という声が上がった。児童の課題を分析し、解決策を探っていくという大きな作業に、教職員はもとより、地域の方々から予想以上にたくさんのご意見をいただいた。まさに熟議であった。

この話し合いをもとに、「様々な違いをもつ多様な児童一人一人が思いや願い、課題意識をもって、試行錯誤しながら取り組む過程を大切にすること」が、学校・家庭・地域で共有され、大人の指導感、教師の授業感の転換の必要性が確認された。

(3) 「自主自立」の力 育成プランの作成

2月。分掌ごとに、具体的な活動の構想に入った。目指す児童像、育成を目指す資質・能力、育成するための指導観、授業観が明らかになり、学校・家庭・地域で共通理解されているので、活動の構想段階では様々な考えが勢いよく出された。子どもたちの「自主自立」の力を育成するための作戦会議である。そこには、「例年と同じ活動のままでよい」という発想はなく、全てがクリエイティブにリニューアルされていった。

校長は、出された活動が資質・能力の育成につながるか精査するとともに、学校経営グランドデザインを作成した。（別紙 資料）

3 取組の実際

4月。新年度の職員会議や学校運営協議会で、改めて目指す児童像、育成を目指す資質・能力、育成するための指導観、授業観を共通理解し、保護者対象の学校経営説明会も行った上で、「自主自立」の力育成プランの実行を開始した。シンプルに「何のために」「何をする」を説明することで、活動の意図も理解される。職員間でも、互いの企画する活動を評価しやすくなり、改善につながっていった。

各分掌が行った様々な取組の中から、いくつかの事例を紹介する。

(1) 思いやりのある子（思いやりの気持ちを持ち、表現できる子）の育成に向けて

思いやりの気持ちを持ち、表現できる子を育成するために、児童会担当は、「誕生集会」と「感謝集会」を企画運営した。ねらいは、一人一人が大切な存在であることを自覚すること、自分を支える存在に気付くこと、方法を考えて感謝の気持ちを表すことである。

① 誕生集会

河北小学校では、毎朝の放送でその日の誕生者を紹介している。誕生集会は年3回行い、保護者も招待し、ともに命の大切さをじっくり考える場となっている。児童も保護者も互いにあてた手紙を読み合い、一人一人が大切な存在であることを自覚することにつながる取組になっている。



② 感謝集会

児童が、お世話になっている地域の方を招待し、感謝の気持ちを伝える集会である。招待者の選出、表現内容の工夫、会場準備等、児童が企画・運営する集会である。自分を支える存在に気付き、方法を考えて感謝の気持ちを表すことが、思いやりの気持ちを持ち、表現できる子の育成につながっている。



(2) よく考える子（課題意識もち、進んで学習に取り組む子）の育成に向けて

よく考える子（課題意識もち、進んで学習に取り組む子）の育成のために、教務部では、探究型の授業の推進を図った。未だに、知識・技能の定着に偏りがちな教え込み型からの脱却を図り、探究型の授業への転換を図ったのである。生活科や総合のカリキュラムの見直しをし、児童の思いや願い、課題意識に基づく探究的な学習の充実を目指した。

6年生の総合的な学習の時間における探究課題は「自分の人生は自分で創る」である。自分の人生の先を見通し、実現したいことを思い描き、実現方法を探っていく。一人一人の思いや別々であることから、探究は個人で行うことになる。今まで身に付けた全ての資質・能力を使い、対象と関わり、情報をもとに自分の考えを組み立て、夢の実現プランを表現していく姿が見られた。



(3) たくましい子（目標をもち、達成に向けて試行錯誤しながら取り組む子）の育成に向けて

たくましい子（目標をもち、達成に向けて試行錯誤しながら取り組む子）の育成に向けて、保健指導部では、自分の健康についての現状を捉え、自分で課題を設定して継続的に改善に取り組む場を設定した。

けんこうポイント河北60チャレンジカード

10/16(木)～10/22(木) 年 月 日

もくひょう (自分の健康)を自分でデザインしよう!「よくねる」を褒めよう!

10月23日までに学校に持ってくる!

生活科のせいり字(デザイン)

お友達も挑戦!お友達と協力してがんばろう。書いていける時間はない!よくねる!なんにでもかな?

河北60チャレンジ項目		◎もうすこしOできなかった△		10/16(木)	10/17(金)	10/18(土)	10/19(日)	10/20(月)	10/21(火)	10/22(水)	計の数
生:	よるは () 時 () 分) には ふとんに入ってる...!!										○
活:	あきは () 時 () 分) には 自分で起きて 日の光をあびる...!!										○
リ:	「メディア(テレビ・YouTube・TikTok・ゲーム・スマホ)のコントロール」で生活を豊かにする										○
ズ:	どんな使い方を?										○
ム:	腸ごはんを食べて エネルギーをたくわえる										○
食:	よくかんで すきらいせずに パラソルスよく食べる										○
運:	80分以上 からだを動かす(散歩・ストレッチ、ダンスなど)										○
動:	すすんで うちの手伝いをする (どんな手伝い)										○
生:	食べたなら 歯をみがいて 口の平をきれいに (とくに寝のはみがき)										○
心:	せつからず手で 歯磨きをする										○
心:	自分からすすんで 気持ちよくあいさつする										○
心:	自分のよいところを見つけて あったことばで生活する										○
ふりかえり	★ しぶん (がんばったこと、もっとがんばれること)										★ おうちの方から



資料2) 取り組みで使用したけんこうポイント河北60チャレンジカード

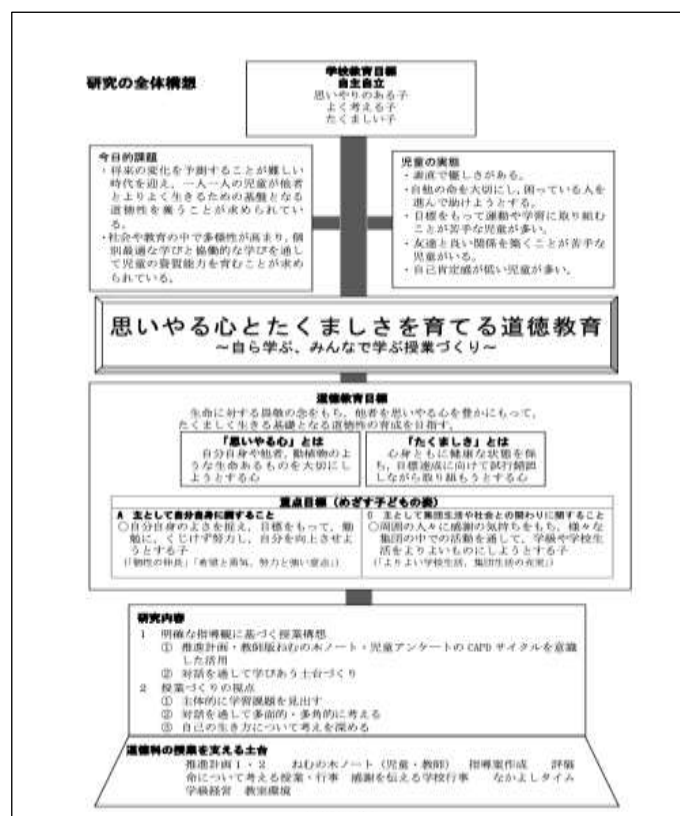
児童は、健康診断の結果や自分の生活の振り返りから課題を設定し、自分で取り組み方法を考え継続して生活習慣の改善に取り組んでいた。保護者や担任も協力することで、意欲を持続し、成果をあげる取組につなげることができた。

(4) 全ての教育活動をつなぐ道徳教育

本校では、平成4年度から道徳教育の研究を学校経営の基盤に据え、継続的に研究を進めている。今年度は、思いやる心とたくましさを育てることを重視し、対話的な学びを通して自分を見つめ考えを深める授業改善に取り組んだ。

「自主自立」の力を育成するための様々な取組の中で、感じたり考えたりしたことを対話的な学びを通して道徳的な実践力へと繋げていく。教師は、取組と授業をどのように関連させて道徳的な実践力を育成するかについて、より具体的に構想するために授業構想シートを作成し、授業実践している。このシートを作成することで、1年間で、「思いやる心」と「たくましさ」を育成する見通しが、具体的に明らかになる。また、全学年で作成して取り組むことで、6年間の系統性も明らかになった。

本校では、ねむの木ノートと称する道徳ノートを全校で活用している。道徳の時間の終わりに、自分を見つめ、考えたことを書くノートである。教師は記述から児童の実態を評価し、全教育活動の中での支援を構想する。



資料3)道徳教育全体計画



資料4)児童のねむの木ノートより

ねむの木ノートは、6年間を通して活用し、卒業時に6年分を児童に返却している。価値に

4 成果と課題

- ・児童の主体性の伸長を簡単に測ることはできないが、教育活動全体を通し、児童の思いや願い・課題意識をもとに自分で活動し力の伸びを実感する場面は、確実に増えている。
- ・3(1)～(4)のように、今年度は、多岐に渡りいくつもの「自主自立」の力を育成するプランが実行された。教務主任は、それぞれの分掌が構想するプランを調整し、効果的にカリキュラムに位置付けること、副校長は、それぞれの活動の意図をPTAや学校運営協議会で説明し理解を得ること、校長は成果を具体的に評価し発信することが重要な役目であった。
- ・意図を理解してくださった地域の方々の協力も絶大なものであった。今年度立ち上げた学習ボランティアは、個別支援、探究活動の支援においてたいへん有効であった。
- ・全教育活動を「自主自立」という柱でつなげ、学校・家庭・地域の共通理解のもとで取組を展開することは、意見交換も活発になり、学校や地域の活性化につながった。

資料) 令和7年度盛岡市立河北小学校 学校経営グランドデザイン

		令和7年度 盛岡市立河北小学校 学校経営グランドデザイン		【地域の実態】 ・CS2年目 ・学校と地域が一体となって児童の育成に取り組んでいる。 ・鳥獣害の中心に位置し、文化財も豊富である。		
「自主自立」		自分で自分の力を伸ばすことができる子どもの育成				
学校 の教育目標		個 思いやりのある子ども	層 よく考える子ども	体 たくましい子ども		
目指す 子ども像		思いやりの気持ちをもち、表現できる子	課題意識をもち、進んで学習に取り組む子	目標をもち、達成に向けて試行錯誤しながら取り組む子		
育成を目指す資力	知・技	自他のよさや大切さや大切さを理解し、コミュニケーションを図る。	基礎・基本が定着している。	自ら、目標や課題を設定することができる。		
	身・心	自他のよさを生かし、協働的に活動する。	多様な方法で考え、根拠をもって説明する。	目標や課題を達成する方法を考え、工夫して取り組む。		
	関わり	思いやりの気持ちを表現しようとする。	課題意識をもって、学習に取り組もうとする。	自分の特性を生かし、よりよい生活の実現に向け取り組もうとする。		
具体 取組	1 特別支援教育、道徳教育の充実 ア 特別な支援を必要とする児童の実態を全教職員で共通理解 イ 多面的・多角的に考え、議論する道徳の授業観 2 自己肯定感・他者肯定感を育成する学級経営の充実 ア 望ましい集団作り イ 事前、実践、事後指導における評価の場の設定 3 集会活動、ボランティア活動の促進 ア 集会活動等、感謝の気持ちを表現する場の設定 イ ボランティア活動の日常化	1 「いわての授業づくり3つの視点」の取組 ア 「学習の見直し」「学習課題を解決するための学習活動」「学習の振り返りの位置付け」と生徒指導の三機能を生かした授業づくり イ 読書活動の充実 2 授業における思考・判断・表現場面の充実 ア 「学習課題を解決するための学習活動」における対話的な学びの充実 イ ICTの積極的活用 3 探究型の授業の充実 ア 生活科・総合的な学習の時間を中心に探究的な学習の充実を図る。 イ コミュニティ・スクールの更なる活用	1 自主的・自発的活動を育む児童会活動の充実 ア 夢や目標をもつ活動の継承 イ 児童会、学級活動、学校行事 ウ 健康・体力を保持増進する教育の充実 2 目標や課題の達成に向けて試行錯誤する場の充実 ア 試行錯誤しながら取り組む場の充実 イ 継続して取り組む場の充実 3 発達段階に応じたキャリア形成の促進 ア キャリアパスポート等の積極的活用 イ 働くことの重要性の意識化 ウ 基本的な生活習慣の改善			
	主体分掌	1 教務部(特別支援教育) 研究部 2 教務部 学級担任 3 生徒指導部	1 教務部 2 研究部 3 教務部	1 生徒指導部 保健指導部 2 学級担任 3 学級担任		
学びフェース 目標値	1 「学校が楽しい」と思う子ども 90%以上 2 自分からさわやかな返事や挨拶ができる子ども 90%以上 3 あたため言葉づかいで話す子ども 90%以上	1 「学習内容がわかる」と感じる子ども 90%以上 2 学習に進んで取り組む子ども 90%以上 3 読解目標を達成する子ども 90%以上	1 目標をもって体力作りに取り組む子ども 90%以上 2 自分の健康に気を付けて生活する子ども 90%以上 3 進んで働く子ども 90%以上			
	学校	1 ・個の状態に配慮した教育活動を展開します。 ・教育活動全体を通して、道徳的実践力を育みます。 2 ・望ましい挨拶や返事について指導・評価し、習慣化を図ります。 3 ・望ましい言葉づかいについて指導・評価し、習慣化を図ります。	1 ・「わかる」授業作りに努めます。 2 ・探究型の授業の充実を努めます。 3 ・読解目標を設定し、取組状況の評価をします。 ・読書態度の充実を努めます。	1 ・目標をもって体力作りに取り組む場を設定し、指導・評価することにより体力の向上を図ります。(マラソン、縄跳び等) 2 ・健康づくりにつながる保健指導、食に関する指導を行います。 3 ・縦割り班清掃や係活動等を通じ、働くことの意義や気持ちよさを意識できるようにします。		
！ 盛岡市5か条のスマホルールを徹底し、子どものスマホやゲーム等の適切な利用について指導します。						
家庭	1 ・学校の出来事などについて話を聞いてあげます。 2 ・家庭でも子どもとあいさつを交わします。 3 ・適切な言葉づかいの手本を示します。	1 ・家庭学習の取組を、励まします。 2 ・家庭学習に集中できるような環境を整えます。 3 ・家庭読書の時間を作ります。	1 ・河北6.0チャレンジの取組に協力します。 2 ・「早起・早起き・朝ごはん・乗鞍」の習慣を身に付けさせます。 3 ・家庭でも自分の仕事を決め、取り組ませます。			
地域	○子どもたちとのあいさつを交わします。 ○子どもの健全育成や教育活動に協力します。(学習ボランティア、環境整備、地域活動等) ○安全で安心な登下校ができるように、子どもたちを見守ります。					
岩手の子どもたちが、自分らしく生き生きと学び、希望ある岩手を創造する「生きる力」を身に付けた子どもの育成						
岩手県	豊かな心の育成 ・自他の生命を大切にし、人権を尊重する心 ・体験活動の推進・学校芸術教育		確かな学力の育成 ・これからの社会で活躍する資質・能力の育成 ・実態に応じた授業改善と家庭学習の充実		健やかな体の育成 ・健康の保持・増進に向けた対策の充実	
	心の教育の充実 ・生命を尊重する心や他人を思いやる心 ・先人教育と関連させながら自己肯定感を育み、高める		学力向上 ・「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的学習に取り組む態度」の育成		健康安全教育の充実 ・生涯にわたって健康で安全に生活できる資質・能力	
盛岡市	・生涯にわたって健康で安全に生活できる資質・能力					